

ほっと

ボランティア

やさしさ

発見!

9月、10月編

市内小・中学校で福祉学習を行いました!

社協では、ボランティアにご協力いただき、市内の各学校で福祉に関する出前講座を行い、福祉への理解や関心を深めるためのお手伝いをしています。今回は、子どもたちが福祉学習に取り組む素敵な表情を紹介します。

加子母小学校6年生

車イス・アイマスク体験

中津川シニアボランティアの協力のもと、車イス体験と視覚障がい者アイマスク体験を通じて、高齢者や障がいのある方の特性を学び、今後、自分たちができることを考えました。



▲アイマスクをつけて階段を降りてみよう!

阿木小学校5年生

高齢者擬似体験

中津川シニアボランティアの協力のもと、老化についての学習と高齢者擬似体験を通じて高齢者の特性を学び、今後、高齢者に対してどんな声かけができるか等を学びました。



▲手のこわばりを体験し、小銭を募金してみよう!

福岡小学校4年生

点字体験

「点訳サークルよつばの会」を講師に迎え、「点字体験」を行い、飲み物のパック等、身近に点字があることを知るとともに、視覚障がいのある方への理解を深める機会となりました。



▲点字で文字をうってみよう!



田瀬小学校4年生

点字体験



▲初めての点字体験にドキドキ!

田瀬小学校6年生

高齢者擬似体験

目の見えない方との交流 耳の聴こえない方との交流



▲目の見えない方との交流はかり、手話体験をしました!

小学生の感想

相手の立場に立って話すことが大切だと思った。

多くの人と関わってふれあうことが大切だと学んだ。

今、自分が出ることは目の不自由な方がみえたら声をかけることだと思った。



「精神障がいのある方と関わり方を学ぶ」

障がい者サポートボランティア養成講座

10月16日と26日、障がいへの理解とボランティア養成を目的に、「障がい者サポートボランティア養成講座」を2日間にわたって開催し、延べ29人が参加しました。今回の講座は主に「精神障がい」について学びました。

1日目

岐阜県立恵那特別支援学校教諭 二島祥江氏、のぞみの丘ホスピタル精神保健福祉士 臼井潤一郎氏から、障がいのある方との接し方について学んだ後、障害者地域支援センター結を見学し、地域の障がい者への支援の状況やボランティア活動について学びました。



2日目

指定障害者支援施設麻の葉学園が開催する「ふれあいコンサート」に参加し、利用者の方の付き添いや模擬店でのボランティア活動を体験しました。



講座を終えた参加者からは、「職場で障がい者雇用を担当している。障がいの理解を深めることが出来た」「今後も自分のためにボランティアを続けていきたい」などの感想がありました。

知っていますか？

おもちゃ病院・おもちゃ図書館

社協では中津川児童センターで、ボランティアの協力により「なかつがわおもちゃ病院」と「なかつがわおもちゃ図書館」を開設し、おもちゃの修理と貸出を行っています。

おもちゃ病院

「おもちゃ病院」はおもちゃを大切に育てる気持ちを育て、思いやりの心をもってもらおうと昭和58年から活動を行っており、毎回役10件の申し込みがあります。ボランティアさんの知識と経験を活かしながらおもちゃの修理を行います。

- 開設 毎月第二日曜日 午前9時30分～12時
- 場所 中津川市児童センター

おもちゃ図書館

「おもちゃ図書館」はおもちゃの貸出を行っており、最長1か月間0～5歳のお子さんで一人2点まで借りることが出来ます。現在は親子のボランティアさんにより運営されています。

- 開設 毎月第二日曜日 午前10時～12時
- 場所 中津川市児童センター

ボランティア募集中



つながる・ひろがる
ボランティア団体
紹介コーナー



「大麦の会」

(発足 H25・4月23日 会員数15人)

児童養護施設「麦の穂学園」の児童に対し、学習のお手伝いを通して児童に寄り添うことを目的としたボランティア団体です。活動は毎週火曜日の午後、小学生3名の算数や国語等の課題をメンバーが交代でお手伝いしています。子供たちから元気をもらいながら、また自分たちの孫をみていけるような気分で楽しみながらボランティアを行っています。



▲9月に行われた会議の様子

福祉ボランティアに関することは
社協地域福祉課にお気軽に
ご連絡ください

☎ 66-11111 (内643)

